

SENAインターコム買い替え講座 Z-8のインカムを買うなら SRL-EXT 50S がオススメ!

セナ・インターコムにはSHOEIのプレミアムヘルメットの一部に対して専用モデルを用意しているヘルメットのコンセプトを生かしたインターコム「SRL」シリーズがこの専用モデルにあたるヘルメットの一部かのような佇まいになる専用品の一方で、汎用品は幅広いヘルメットで使うことができるインターコムのヘルメット専用モデルと汎用モデル。このチョイスをSHOEIのZ-8を例にとって考えてみよう

文/八百山ゆーすけ
問:セナBluetoothージャパン <https://senablutooth.jp>

Z-8の狙いを生かす専用
幅広い使いながら汎用品

セナ・インターコムのラインナップの中には、ヘルメット専用のモデルとして開発されたインターコムが存在する。それが「SRL」シリーズだ。たとえばSHOEIのスポーツツーリングフルフェイスの最新モデル「Z-8」には、「SRL・EXT」が用意されている。Z-8は帽体を限りなくコンパクトにすることで、ライダーの佇まいをスポーティに演出することがコンセプトとなっているが、帽体がタイトでも左右の縁をえぐったような形とすることで、ヘルメットの脱着をしやすくしてある。この「えぐり」がZ-8をはじめとしたZシリーズのデザインの特徴のアイデンティティとなっている。ただしえぐられたこの独特の帽体のつくりが、一般的なインターコムを取り付ける場合に、さまざまな制約を生んでいる。そこで、このZ-8専用設計されたのがSRL・EXTだ。Z-8の帽体形状に沿うようにカーブした形状となっていて、ヘルメットの縁に貼る形で取り付ける。そのため、帽体からの出っ張りを限りなく小さく抑えられ、Z-8のスポーティな佇まいを邪魔しない。こうした専用品に対して、さま

Pattern 1 空力特性をそこなわない 専用機という 機能美



SRL-EXT

価格: 4万4440円
通話距離: 約2.0km (Bluetooth)
約2.0km (Mesh)
メインモジュール寸法: 108×44×20 (mm)
重量: 48g

SRL-EXT派の意見

- 専用機であること
- Z-8のデザインコンセプトをキープ
- 空力や重量の左右バランスがいい



そもそもSHOEI-Z-8とは?

帽体のフォルムを限りなくコンパクトにすることで、よりスポーティな佇まいを実現したスポーツツーリングモデル。タイトなデザインでもかぶりやすくするために、帽体の左右の縁をえぐったようなデザインが特徴となっている

- 軽量
- スマートなフォルム
- 静かで空力特性に優れて快適

るのが狙いのヘルメットだが、SRL-EXTは非常に薄く、コンパクトなスタイルにより、インターコムを取り付けた状態でも、このスポーティな佇まいを崩さないのが最大の特徴だ。

もちろん、セナのクワンタムシリーズの一台として、SRL-EXTは性能・機能面でも充実。最大通話人数の制限がなくスマートにグループ通話ができる「メッシュ2.0」システムを採用。さらに、ハーマン&カーソンとコラボしたマイクやスピーカのほか、サウンドチューニングが施されるなど、最高峰モデルにふさわしいスペックを備えている。

セナ・インターコムの最高峰モデルである「クワンタム」シリーズに位置づけられるのが「SRL-EXT」だ。SHOEIのプレミアムヘルメットである「GT-Air2」などの専用インターコムである「SRL」シリーズの一台でもあり、SRL-EXTは「Z-8」の専用モデルとなっている。もともとZ-8はコンパクトな帽体でよりライダーをスポーティに見せ

SRL-EXTのフォルムはZ-8の帽体のカーブに沿うように設計されており、帽体表面にピッタリと密着して、Z-8の優れた空力特性への影響を抑えている



本体のコンパクトさを実現するため、バッテリーを分離して帽体の反対側に装着。重量的にも空力的にも左右のバランスを図っている



50S

価格: 4万8840円
通話距離: 約2.0km (Bluetooth)
約2.0km (Mesh)
メインモジュール寸法: 102×56×27 (mm)
重量: 64g

50S派の意見

- 使い慣れたジョグダイヤル
- 複数ヘルメットを所持している
- ヘルメットから外せるのが便利!

さまざまなヘルメットに取り付けられる汎用モデルもセナではラインナップしている。その代表格がSRL・EXTと同じクワンタムシリーズの一台である「50S」だ。セナ伝統のジョグダイヤル・スタイルを継承し、操作性には定評がある。また、50Sはクランプキットを介してヘルメットに取り付けるスタイル。マイクやスピーカーをヘルメット側に残したまま、本体だけを簡単に取り外すことができるため、ツーリングの休憩時に50Sを取り外しておくことや、複数のヘルメット間で50Sを共用するようなときに便利だといえる。

同じZ-8というヘルメットに対してインターコムを選ぶときに、専用モデルのSRL・EXTと汎用モデルの50Sというアプローチ。ヘルメットのコンセプトを生かすならSRL・EXT、ヘルメットを使い分けるなど幅広い使い方をするなら50Sと、自分のインターコムの使い方をよく考えて、最適なモデルをチョイスしよう。

Pattern 2

クランプキットで装着する汎用型 ヘルメット間で 共有して使う

さまざまなヘルメットに取り付けられる汎用のインターコムが「50S」。「ジョグダイヤル」と呼ばれる大きなホイール状の操作システムはセナ伝統のスタイルで、グローブをはめた手の指先でもスピーディに操作ができるのが最大の特徴といえる。グループ通話システムにはセナ独自の「メッシュ2.0」を採用。さらにハーマン・カーソンとコラボすることで、ハード・ソフト両面で高品質なサウンドを聞かせてくれる。

ヘルメットには専用クランプキットを介して取り付けるため、ボタン操作ひとつでヘルメットから脱着が可能。また、複数のヘルメットを持っているのであれば、クランプキットを買い足して各ヘルメットに取り付けておくことで、スムーズにヘルメット間で取り換えることができる。



50Sの主な操作は大きなジョグダイヤルを回して行う。グローブをはめた手でも、パッと操作ができるこのスタイルはセナの伝統だ

本体は専用クランプキットを介して帽体に装着する。そのため、バイクから離れるときには、簡単に50Sを取り外すことができる



SHOEI Universal Com Holder

価格: 2750円
Z-8のような帽体の縁が独特の形状をしたヘルメットのために、SHOEIではアタッチメントを用意。50Sのクランプキットをこのアタッチメントに差し込んで取り付ける